

ご あ ん な い

2019年度 総会

日時：5月18日(土)

●記念講演(無料) 午後 1 時

会場 母校視聴覚室

講師 中村 輝雄氏 (昭和38年・P科卒)

演題 「水平開きノート」の開発

テレビや特許庁広報誌で紹介された
ヒット商品の開発ストーリー

◎在校生の出席を歓迎します。

●総 会 記念講演終了後開催 会場：視聴覚室

●懇親会 総会終了後開催 会場：会議室

会費／3,000円 (会費は当日、受付で申し受けます。)

◆ご出席の方は、同封のハガキに必要事項をご記入のうえ、

必ず4月19日までに投函をお願いします。

こ
う
げ
い誠実
元氣
信愛
規律

記念講演講師 中村輝雄さんプロフィール

1943年浅草蔵前にて生まれる。

都立工芸高校印刷科を卒業後、創業者である父が開業していた中村印刷所に入社、その後二代目として事業を受け継ぎ、そこから印刷一筋の仕事に現在も励んでいる。

印刷の仕事もご多分に漏れず変化が顕著に表れてきた。それは紙媒体から電子媒体に移りつつある昨今、受注産業から自社開発商品を考える。

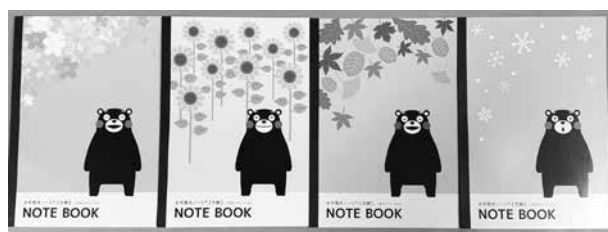
2016年1月、満を持して開発した「水平開きノート」がネット上で大ブレイク、以降、マスコミによる紹介、特許取得、各種受賞等の相乗効果により大ヒット商品となり、世界の子供達に使い易いノートで勉強して貰いたく、世界各国への特許出願等の費用をクラウドファンディングにて募集中、さらに書籍、教科書も開きやすくするために開発中。



各種の「水平開きノート」

「水平開きノート®」が紹介された例 (抜粋)

- 2016年 1月 朝日新聞・TBS・ヤフーニュース
3月 日本版イグノーベル賞受賞
5月 日経トレンディ主催 大賞受賞
8月 「おじいちゃんのノート」出版
9月 日本経済新聞・日刊工業新聞
10月 女性セブン 1年間のヒット商品
11月 フジテレビ「とくダネ!」
12月 NHK BS1 経済フロントライン (真山 仁氏)
- 2017年 9月 夕刊フジ こんな時代のヒット力
10月 テレビ朝日「張り紙パイレーツ」(カズレーザ氏)
- 2018年 1月 J-COM 東京北人図鑑に出演 (大場久美子氏)
3月 読売家庭版 今どき便利文具
5月 紙パルプ技術協会講演
9月 特許庁冊子「とっきょ」掲載
- 2019年 2月 北区産業部 ものづくり表彰



「水平開きノート」に「くまもん」が登場

滝澤 方美 (昭29・D卒) (株)たき工房 (株)日本コマ・シヤルフォト (株)ワークアップたき (株)インパクトたき (株)タクト (株)プラン (株)たきC1 (株)たきホールディングス	細江 邦雄 (昭41・M卒) 築地工芸会 監事 (有)ステーション・エム 代表取締役	下山田 信一郎 (昭23・M卒) 中京工芸会 会長	丸山 士郎 (昭43・A卒) 関西工芸会 会長	大賀 勉 (昭45・P卒) 築地工芸会 会長
梶 広幸 (昭44・D卒) 築地工芸会 副会長	 撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)		桜井 洋一 (昭43・F卒) 築地工芸会 理事 (株)スパイク 代表取締役	坂巻 章雄 (昭55・A卒) 築地工芸会 理事 (有)坂巻工芸社 代表取締役
駒村 武夫 (昭40・D卒) (株)ソフケン 代表取締役			茂木 益雄 (昭30・P卒) (株)フォレスト 会長	中村 輝雄 (昭38・P卒) 築地工芸会 理事 「水平開きノート®」発売元 (有)中村印刷所 代表取締役
荒井 拓哉 (昭35・D卒) 築地工芸会 理事	神山 隆夫 (昭43・A卒) 築地工芸会 理事	中山 清 (昭33・M卒) 築地工芸会 理事	石原 義久 (昭30・P卒) 石原エディター事務所	五反田 稔 (昭35・M卒) 中京工芸会 副会長

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

技術資料の制作

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション・エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

OB・OG作品展示はD科の展示を終了し、A科の作品を展示しています。ぜひご覧ください。



● 築地工芸会

会長就任のご挨拶

新会長 大賀 勉



この度、理事会にて築地工芸会会長のご指名いただきました。何卒宜しく

お願い致します。大変、歴史と伝統のある同窓会ですので、皆様のご協力をいただきながら組織の活性化と充実感のある運営を目指していきたいと思

ます。工芸高校卒業生の多くの方々は、様々な学んだ知識や経験を多様な形で進化させ、幅広い分野でご活躍していただけると思います。そして一方で出会った恩師や諸先輩、仲間は、いつまでも心に残り懐かしくもあります。その繋がりの中でお互いが現在、未来へと知恵や勇気を湧出させ、行動力を奮い立たせている面も多くあるのではないのでしょうか。「不易と流行」という言葉がありますが、学んだ知識や技術は

どんどん変わり、絶えず新しさを求めているかなければなりません。さらには情報革新によって日々接する情報量は飛躍的に増大しており、その選択や評価はより難しい環境にもなっています。このような時代にこそ人と人との交流や情報交換、そして信頼関係のある「人の絆」が大切だと思います。時間の経過と共に過去は次第に遠退いていきますが、だからこそ一方で工芸高校で学んだ絆を大切に、過去形で終わらず「今の自分の活力」になれる事があれば素晴らしい事ではないでしょうか。今後、築地工芸会の運営では具体的な活動として、会報誌の企画内容や、ホームページの更なる質のアップ、

総会や在校生との交流の場などでは更なる充実を目指していきたいと思

(昭和45年P科卒)

● 退任のご挨拶

前会長 坂巻 章雄



都立工芸高校同窓会会員の皆様、平素は築地工芸会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜わり誠にありがとうございました。

ます。

任期満了により3月末を持ちまして、築地工芸会会長役を卒業することとなりました。3年間を振り返りご挨拶を申し上げます。

前桜井会長より、築地工芸会を引き継ぎ、多くの方々にご支援を賜わり微力ながら大役を閉じること改めて皆様に御礼を申し上げます。

この3年間、桜井会長より引き継ぎ同窓会名簿の更新をはじめ、創立110周年記念行事の開催と大きな学校行事が有りました。その間、学校との行事進行の調整、打ち合わせが始まり、文京シビックホールでは、在校生、教職員、ご来賓の皆様など1200名を超える方々が参集し、記念行事を行な

えたことは感極まるものが有りました。

また、築地工芸会（同窓会）ホームページの再構築も行なわれ、同窓生同士の絆を強固なものにできたのみならず、工芸高校を目指す中学生、保護者の方々、更に多くの方に母校工芸高校と築地工芸会（同窓会）活動に触れていただくなど充実した広報も徐々に伸び始めております。

本年は、新天皇の即位と新時代が始まります。更に来年には、東京オリンピック・パラリンピック2020の開催など大きなイベントが続く、日本国内に留まらず世界に向けた発信ができるチャンスがやってきました。

次期新会長役には、P・G科の大賀

氏が会長に就任されます。

築地工芸会が世界に向け飛躍されることに大いに期待し、わくわくしております。

結びに、会長就任期間中お世話になりました事務局の荒井さん、神山さん、理事の皆様、会員の皆様、前田校長並びに前鳥屋尾校長、教職員の皆様、PTA役員保護者の皆様、その他にご支援を賜りました皆様に心より御礼を申し上げます。

母校工芸高校、同窓会の益々のご発展を祈念し退任のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(昭和55年A科卒)

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年7月11日以降、本年2月10日まで、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

石井清一、紫藤竹夫、藤木周一郎、中澤泰男、浅井将治、松田正巳、清水和男、松村大悟、田中重美、高橋佳久、村上五雄、片山忠久、浜田真和、馬場和夫、竹田登、佐藤勇、塩原巖、佐野一義、内藤亮一、橘正春、横山一雄、木村昭和、山崎邦男、関根伸司、若松延男、中村輝雄、石井比功次、大井三喜男、岩崎あゆみ、黒田次郎、牧野昇、高坂一彦、宝田満男、福田満、五十嵐智則、高木隆匡、川上三恵子、大鳥身吉、横尾浩、大橋守、甲賀真人、戸原正之、赤木智美、田中秀、佐藤秀男、内藤亮一、渡辺一孝、丸山士郎、中澤美佐子、吉田積人、森永富美子、谷友子、浅黄由美、平井光吉、永坂景子、服部彩佳、熊澤ひより、下山田信一郎、鈴木次雄、小島英義、小佐々憲、菅野登、伊東渉、石山絢子、橘和美咲、江端恒太郎、大久保勇、宇田川徳治、平光和人、黒木賢治、安永麻衣子、山林愛実、田嶋美沙、粉川愛理、山岸瑞季、伊藤嘉一、矢沢四郎、田辺廣、鎌田隆、山下行夫、畔上八寿男、小林重行、梶野晋ノ介、片岡英夫、間中辰男、菊地道夫、数野博久、山田恵穂、根津孝雄、栗原武司、池田博、都築晋平、福島歌奈子、松下明莉、石黒真衣、名倉幸夫、

佐野光範、西多玲奈、小野崎昇、牛込源晃、曾我部上、田口寿恒、山本良子、村田恵子、傳法谷珠子、坂内好夫、萱沼実、伊崎憲利、今川大志、渡辺康孝、服部一、須藤幸平、坂中修、鎌田隆、保科和夫、山下行夫、吉田光男、小川政之、大久保健二、山口積善、請地伸二、清水宏、佐藤雅樹、古平修二、吉田和子、石田武史、紅林正司、丹羽治久、久世佳史、古谷芳

2018年度累計

六三二、〇〇〇円

◆役員の改選について

2019年度は役員改選の年で、当番科はA科からP・G科となります。(任期2年)。

2019・2020年度役員(敬称略)

会長 大賀 勉 (P・G科・昭45)
副会長 磯野 祥 (A科・平1)
細江 邦雄 (M科・昭41)
岡田 里美 (F・I科・平1)
佐々木慎一 (P・G科・昭48)
梶 広幸 (D科・昭44)

理事

A (アートクラフト科)

杉本 勉 (昭36)、井上 正治 (昭42)、
神山 隆夫 (昭43)、堀越 敏晴 (昭43)、
高木 実 (昭48)、石井 正美 (昭54)、
高木家守子 (昭54)、坂巻 章雄 (昭55)、
松本 礼 (平2)、佐藤 充俊 (平17)、
染谷 実紅 (平23)
M (マシクラフト科)
大鳥 身吉 (昭29)、中田 実 (昭29)、

落合 忠 (昭33)、中山 清 (昭33)、
松井 辰弘 (昭34)、篠宮 秀雄 (昭42)、
坂元 勝彦 (昭48)、佐藤 浩久 (昭56)、
藤岡 俊平 (平26)
F・I (インテリア科)

中丸 啓 (昭30)、森谷 延周 (昭32)、
関 公宇 (昭39)、桜井 洋一 (昭43)、
池田 成孝 (昭60)、伊東 久江 (昭60)、
佐藤 貴志 (平1)、明間 秀信 (平2)、
坪井 裕 (平2)、宮田 潤一 (平2)、
久保田 晃 (平5)、久保田真奈美 (平5)
P・G (グラフィックアート科)

数野 博久 (昭32)、中村 輝雄 (昭38)、
都築 晋平 (昭51)、大澤 正則 (昭59)、
井出 賢一 (昭61)、久保木秋徳 (昭63)、
岡崎 晴重 (平2)、渡辺 富一 (平5)、
福田 善志 (平元)、富成 世梨 (平20)、
佐藤万里子 (平20)、野田 彩夏 (平29)
D (デザイン科)

荒井 拓哉 (昭35)、岩井 昌代 (昭39)、
中山れいこ (昭41)、福田 哲夫 (昭42)、
鈴木 陽子 (昭46)、清水 一忠 (昭47)、
佐藤 秀男 (昭51)、長江 豊美 (昭54)、
半田 悟 (昭54)、久世 佳史 (昭62)

地方支部

下山田信一郎 (昭23M) 中京支部
丸山 士郎 (昭43A) 関西支部

監事

関 公宇 (昭39I)・細江 邦雄 (昭41M)

訃報

前回の会報172号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。(一) 内は逝去された日です。

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064

東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025

FAX 03-5577-3027

Email nakayama@ifpat.gr.jp

岩田 正氏	元職員
神田 久正氏	昭10・M卒 (30・9・20)
塚本 清人氏	昭17・M卒 (30)
堀江 良夫氏	昭20・M卒 (30・9・24)
木村 昭和氏	昭21・A卒 (30・10)
中野 清氏	昭22・A卒 (30・7・18)
鈴木 統一氏	昭27・M卒
宮坂 栄二氏	昭28・A卒 (30・12・4)
青柳 信雄氏	昭28・M卒 (30・6・3)
山田三雄氏	昭29・A卒 (30・8・22)
岸 寛氏	昭29・M卒 (30・12・31)
倉嶋 一郎氏	昭30・M卒 (30・2・29)
佐藤 義男氏	昭32・P卒 (29・5・10)
高木 隆匡氏	昭34・M卒 (29・5・25)
天川 博邦氏	昭34・M卒 (30・10・6)
滝山 貞二氏	昭35・F卒 (29・10・9)
佐藤 誠一氏	昭36・M卒 (30・9・11)
斉藤 一億氏	昭36・P卒 (30・9)
平野佐和子氏	昭37・D卒 (30・4・23)
秋山 雅信氏	昭38・P卒 (29・5・10)
永井 徹氏	昭39・P卒 (30・10・3)
太田 泰介氏	昭41・P卒 (30・2)
田原 宏氏	昭41・P卒 (30・12・7)
鈴木 健氏	昭51・A卒 (30・12・7)

支部だより

●第55回中京工芸会総会

中京工芸会総会は毎年10月の第3日曜日と決めていましたが、現役の方のご意見・地域の祭典などと重なったことも有って、11月中旬開催とし、平成最後の第55回総会を11月18日(日)12時〜名古屋「日本料理 大森」で開催しました。

築地工芸会より坂巻会長さん(A55卒)、荒井理事さん(D35卒)、細江理事さん(M41卒)、横浜からは岩崎龍二さん(M35卒)が御来名頂きました。荒井理事さんは築地工芸会会長時代にもお越し頂いて久し振りの再会でした。関西工芸会は現役の方で、どうしても調整叶わず欠席となり残念でした。総勢14名の方々が出席して下さいました。

話題は、古い学び舎のこと、現在女子主流の新校舎のこと、出席の皆さんの近況等々尽きることなく談笑が絶え



第55回中京工芸会 総会



中京工芸会 節分会

ませんでした。特に今回は小林正裕さん(M55卒)が約20年振りに出席下さったことが、嬉しく思います。又1年前に亡くなった、西田篤生様の副会長の席が空席でしたが、岩佐泰樹さん(D40卒)が推挙されました。新たな風を吹き込んで頂けると楽しみにしています。

歓談終了後は、名古屋城構内の「金シャチ横丁」を探索し、流れ解散でしたが、余韻の残る思い出になれば嬉しく思います。

●中京工芸会節分会

毎年、中京工芸会総会の会場の女将・若女将が節分の時期に、古来の美人に魅了行事に重ねて、中京工芸会も「節分の日」として役員会を兼ねた有志の方との歓談・その年の総会内容を確認しています。

今年も2月1日(金)17時〜「名古屋うなぎ しら河 淨心本店」にて開催しました。出席者は下山田信一郎会長(M23卒)・五反田稔副会長(M35卒)・

岩佐泰樹副会長(D40卒)・安藤孝久さん(M35卒)・畑中ひと美さん(P42卒)・井上京子さん(F50卒)・長谷川充さん(D50卒)の7名が出席して頂きました。女性が3人入って頂いたことは、頼もしい限りです。特に今年は中京工芸会総会が第55回迄1

回も欠かさずに続けてきたことで「諸先輩が築いてきた中京工芸会の灯を消してはいけない」というテーマで議論をしました。

以下の通り決まりました。

1 本年の総会日程

日時…2019年11月17日(日)12時〜場所…名古屋「日本料理 大森」

2 改革内容

・会長・副会長の仕事の分担
・今後の人事案検討↓総会の決議事項に付き、11/17総会で議事案として提案予定。

中京工芸会 副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

●2018年度 関西工芸会の集い

2018年11月3日に58回目となる関西工芸会の集いを、今までは京都・大阪を中心に開催して参りましたが、昨年は久しぶりに神戸は日本一の酒処として有名な灘五郷と呼ばれる地域にある、ノール賞受賞晩餐会で飲まれる日本酒『福寿』を作る酒蔵の料亭『さかばやし』にて開催致しました。

関東からは築地工芸会理事の神山先生と細江さん、愛知県を中心に活動している中京工芸会より下山田会長と五反田副会長が遠方から参加して下さいました！

現在関西工芸会の会員は大学生から90代の大先輩まで54名が登録されております。今回は女性1名を含む3名の初参加者があり総勢16名で盛大に開催する事が出来ました！出席して下さいました皆様、この場をお借りして御礼申し

あげます。

昼食会の後は敷地内にある酒蔵を見学しました。ほろ酔いの中、美味しい日本酒が出来上がる工程を映像と実際の現場を見ながら学生時代に戻ったかのように賑やかに楽しく見学することが出来ました。

在校生及び日本全国で活躍する工芸高校同窓の皆様の関西工芸交流の架け橋になれるよう、これからも年に1回の集いを開催して参りますので、関西に転入されて来られる方がおりましたら築地工芸会まで是非ご連絡下さい。

関西工芸会事務局

ハイジューエリー職人 松田 健

●2018年度 工芸祭

2018年度 工芸祭は、10月27日(土)・28日(日)に開催されました。保護者、中学生、卒業生をはじめ大勢の来校者で活気に溢れた工芸祭となりました。

・DM・ポスターデザイン…グラフィックアート科2年 長谷川珠乙
・記念バッジデザイン…アートクラフト科3年 黒田 宙



関西工芸会の集い

人間国宝・桂 盛仁 金工の世界

―江戸彫金の技―

(昭和39・A卒)

昭和39年A科卒業の桂 盛仁さんが、2018年12月1日〜2019年2月11日、練馬区立美術館において、「人間国宝・桂盛仁・金工の世界―江戸彫金の技―」と題する個展を開催されました。

この展覧会では、桂盛仁さんの初期作品から近作までが展示されると同時に、併せて父上・桂盛行氏、桂さんのルーツである二代豊川光長氏、桂光春氏の貴重な作品が展示されました。以下に展覧会の図版に桂さんが書かれた文章を紹介します。

桂 盛仁の金工

私は小学校低学年から父の仕事に触れ、10歳頃より父の手伝いをし始めた。都立工芸高校の金属工芸科に入学し、



桂 盛仁さん近影

彫金・鍛金・鍍金の基礎を学んだものの、一時金工から離れ、再び彫金に戻るのが、昭和45年(1970)、25歳の時である。翌年、日本伝統工芸展に出品、初入選を果している。それ以降の作品やその制作スタイルを分類すると

- ・平象嵌ひらそうがん
- ・金具たかにくぼ(高肉彫り)
- ・打ち出し
- ・金銷象嵌きんけいそうがん
- ・肉象嵌にくそうがん
- ・方切彫り

の6つに集約することができる。

以下、それぞれについて説明を加えたい。

平象嵌には線象嵌や面象嵌などがあるが、比較的線象嵌は容易な技法のため、初期の頃は線象嵌を多用した作品を制作している。《四季 銀水差》は六角形に形作られた線象嵌の中に「春夏秋冬」のそれぞれの文字を抜いて表現したもので、線象嵌の最初の作品で



象嵌 銀水差



唐辛子 帶留金具

ある。一方、《象嵌花瓶》は面象嵌の中でも、大きな紋金(金属パーツ)を正確に嵌め込む技術の難しさがある。一方、《象嵌 銀水差》は線象嵌と面象嵌を組み合わせて表現したものである。

金具は、父はもちろん、代々町彫りに伝承されたお家芸であり、江戸彫金の代名詞である。金具には刀装具の目め拔・小柄こがら筭や、たばこ入れの前金具などがあるが、現在は帯留金具のみを見ることが出来る。金具には立体的に表現する高肉彫りの技法が用いられている。《磯の木 帯留金具》は現代風にアレンジした打ち出し作りで、つまり、一枚の金属板で作り上げるのではなく、パーツを組み合わせている。《唐辛子 帯留金具》は2つの唐辛子の内、片方は青金を使ってみずみずしい唐辛子を、片方は緋銅技法を使って熟



想 香爐

した唐辛子を表現している。これは父が復活した技法を伝承するものである。

打ち出しは金属の一枚板を、表から裏まで叩いて立体を作り上げる手法だが、高肉彫りの金具よりもっと高低差をつけ、彫刻のような造形物を作る技法である。銀によってそうした、彫刻的な打ち出しを行う手法は従来より見ることが出来るが、《想 香爐》は一枚の四分一の板から、鹿を突起させたものである。四分一は硬く、展延性が極めて少ない上に、融点が低いため、立体化するには扱いにくい地金である。しかし、仕上りの色は日本人の心である侘びさびに通じる、シックな色合いを持つもので、その色には何ものにも代えがたいものがあるため、あえて挑戦した作品である。こうした試みは平成4年からはじめてきたもので、徐々にその打ち出しの高さを出す



森韻 薫爐

ことに技術を磨いたが、《雲海 香爐》では、高さとともに、打ち出された鷹の足を絞るテクニクにも挑戦している。

金銷象嵌は父、盛行が完成させた技術である。その特徴は、線象嵌や面象嵌とは異なり、ぼかしや直線的でない動きのある線の創出が可能となることから、絵画的な表現に適している。《森韻 薫爐》は湖水の水際に移る森林を描出したもので、金銷象嵌なくしてはその幻想的な絵画表現ができなかったことであろう。

肉象嵌は象嵌技法の中でも生地とな



道導べ 香盒

る金属に別の金属を盛り上げて埋め込む表現のことを指すが、私の場合、生地から1mmの厚みで別の金属板（紋金）を象嵌し、その極薄のなかで立体的に表現することを得意としている。

《飛蝗 香盒》では脚や触覚に0・1mm幅の肉象嵌を施すことに注目されたい。通常、0・3mmが限界であるが、あえての挑戦である。一方、《道導べ 香盒》ではこうした肉象嵌の技法に加え、羽の部分に螺鈿を用いて多彩な表現を求めながら、彫金の新しい可能性を見出している。

400年前から伝わる彫金の基本である、毛彫りと片切り彫りの技法は二代光長、光春と伝承され、装身具にはよくみられるものであるが、殊、工芸展といった展覧会の出品には、目立たず、適さないものとして、軽んじられてきたが、あえて、その彫りの味わいと技巧の再発見を求めて制作したのが《源氏物語第十四帖 滯評煙管》《源



雀文中次

氏物語第五十一帖 浮舟煙管》である。伝承という意味合いがあるものの、展覧会芸術としては主張が弱く、印象が薄いため、《雀文中次》のような片切り彫りの魅力を主体としながら、象嵌を併用した作品を仕上げています。

私の技法に関する興味や習得、そして発表はこのように年代を追うごとに変化していく。が、もちろん、そうした技術をアレンジし、組み合わせ、一つ一つの作品を作り上げている。

常に新しい技術や失われた技法の再生に挑戦し、多くの人たちに見て、理解してもらうことが重要であると考え、日本伝統工芸展などの展覧会に出品している。そうした、刺激が、自らの技術の革新、進歩にもつながり、また、そうした技術を伝承し、後進に刺激となるような仕事をするよう、これからも精進していきたいと考えている。

● 校友の活躍

◎ 出品

第65回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館・新館
7階催物会場

・ 染織

松原 伸生氏（昭和59・D卒）

長板中形着物「菱松文」

・ 金工

田口 壽恒氏（昭和34・A卒）

人間国宝

鍛籠銀鉢

桂 盛仁氏（昭和39・A卒）

人間国宝

栗穂 帶留金具

・ 木竹工

須田 賢司氏（昭和48・F卒）

人間国宝

棟・楓拭漆賀奈目二階棚

「阿布知乃多奈」

・ 同時開催

特別展示—わざを伝える—

文化財保存事業報告

金工Ⅱ「鍛金」田口 壽恒氏

「中谷隆夫の器」展（元・D科教員）

東急吉祥寺店8階美術工芸品売場



JJAジュエリーデザインアワード 2018

日本ジュエリー協会会長賞・ NIPPON賞を受賞された

上野彩香さん(2010年・A卒)

2010年にA科を卒業した上野彩香さんがJJAジュエリーデザインアワード2018で、「日本ジュエリー協会会長賞・NIPPON賞」を受賞しました。上野さんの作品制作に対する考え方や、工芸時代からの思い出などを語っていただきました。

私は、工芸高校を卒業後、東京家政大学へ進学し、金属工芸以外の技法にも触れ、現在は、真珠・ダイヤモンドの卸業を主にしている東京真珠株式

会社に勤めております。事務業務を行いますが、真珠製品の製作作業やデザイン業務など幅広く携わる中で、弊社会長からジュエリーデザインアワードへの出品を勧められました。

学生時代はいきすぎた個性的なデザインでも許されましたが、今回は会社の名前を背負った作品。自身の技量とセンスの凡庸ぶりを考慮した為、デザインの仕事から離れたにも関わらず、このようなお話を頂けたのは大変嬉しい反面、重荷に感じてしまいました。

学生時代は、非常に良い環境に身を置かせて頂いていたのにもかかわらず、全ての課題に真摯に向き合っていたとは言えず、思い置けることが少なくありませんでした。ものづくりが日常にある環境から離れ数年を過ごしたこ

とによって、デザインやものづくりを、そして自分自身を以前より、客観視出来るようになりました。そのような時に頂いた貴重な機会を無駄にしないよう、コンセプトに比重を置いて、大切にデザインをしました。

社内テーマとして「和」がありましたが、和風の「和」だけに囚われずに、テーマを広げてゆく中で、白いアウエアネスリボンに「平和」という意味があるのを知り、DNAのモチーフを掛け合わせました。珠座部を和柄の代表でもある七宝柄を繋げることで、「和の心を繋げる」DNAモチーフから裾を塩基対へと変化させ、「平和の拡大」を表現するなど、他にもフォルムから、パーツのそれぞれにまで意味を持たせ、拘りました。私の我儘が沢山つまったデザインを、ひとつひとつのパーツを全てロウづけで組み上げて下さった職人さんには頭が上がりません。工芸高校で学んでいたからこそ、技術力の高さがわかりますし、受賞するのが、私だけであるのが申し訳なくなりました。

そして、幸運にも身に余る光栄を頂きましたが、受賞の有無に関係なく、今回のデザインは私自身の気持ちに大きく変化をもたらし、また、ものづくりに積極的に触れてゆきたいと改めて思えるきっかけになりました。幸いなこと、工芸高校で得た友人達は今でも色々な形で作品制作を続けている方



<作品概要>

- ◆氏名： 上野 彩香
- ◆作品名： The Gene ～平和の遺伝子～
- ◆ブローチ/K18WG・ロジウムメッキ/
アコヤパール/ダイヤモンド

「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展、出品、受賞、クラス会等の様子をお知らせ下さい。

郵送先：築地工芸会（工芸高校の住所）
メール送付先：taquya@nifty.com

が多く、刺激を受けることが出来る環境にあります。工芸高校で得たこの環境を無駄にせず、自身の、そして周りの糧にも成れるように日々精進してゆきたいです。



TAKI GROUP

広告制作会社
たきグループ

グループ創業者
滝澤方美
D3(昭29)

(株)たき工房
(株)たきホールディングス
(株)日本コマーシャルフォト
(株)ブラン
(株)ワークアップたき
(株)インパクトたき
(株)たきC1
(株)タクト

株式会社たき工房
〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351(代) URL:http://www.taki.co.jp

● 校友の活躍

神田夏稀さん 第56回技能五輪全国大会で銅賞を受賞

(平成27年・A卒)

平成27年A科卒業の神田夏稀さんは第56回技能五輪おきなわ大会貴金属装身具職種にて、銅賞を受賞されました。以下に神田さんの喜びの声を紹介します。

第56回技能五輪おきなわ大会の貴金属装身具職種にて、銅賞を受賞いたしました。このような栄誉ある賞をいただけて本当に嬉しいです。

大会当日は、ロシアより招待選手1名が参加し、通常の大会とは違う環境のもとで行なわれました。競技会場では、競技を見に来られた観客が目の前にいたり、ガス設備がいつもより火力の上がるものを使用したりしました。本番では緊張で手が震え、普段ではありえないようなミスも起きます。



その様な環境の中、如何に普段の実力を出しきり自分に勝つことができるかが、メダル受賞の鍵だと思っています。

この栄誉は決して自分だけの成果ではないと思っています。これまで自分を指導し育てていただいた先輩方や先生方のお蔭であると実感しています。

私は、工芸高校の先輩が技能五輪でメダルを取った姿を見て、自分もメダルを取りたいと思いこの舞台に立つために努力してきました。私がメダルを取ったことを機に、工芸高校の後輩たちがものづくりを極めて、技能五輪に積極的に参加してくれたら、とても嬉しく思います。

◎ 出品

改組 新 第5回日展

六本木 国立新美術館

春山 文典 (昭和39・F卒)

「キュービック 宙・華」



春山さんの作品「キュービック 宙・華」

原 典生 (昭和33・A卒)

「天までとどけ」



原さんの作品
「天までとどけ」

田中 照一 (昭和39・A卒)

「幾何模様の箱」



田中照一さんの作品
「幾何模様の箱」

尾澤 勇 (昭和57・A卒)

「風をみる 八郎潟追想」



尾澤さんの作品
「風をみる 八郎潟追想」

おとなの工芸祭二〇一八
デザイン科OB・OG展示会

テーマ 夢・DREAM

江連誠・佐藤秀男・永井裕明・岩下朱美・大野早苗・山口多美子・狩野浩之・阿部めぐみ・稲川マユミ・斉藤直正・金児剛夫・菊地和浩・桜井祐司・松原伸生・大竹美樹・金子秀行・橋本進二・田上かおり・帆足宗二郎・杉原由美子・遠藤裕美・大豆生田さとみ・宮尾純子・水沢あゆみ・池田卓哉・高野悠・鶴飼千春・田上真弥・君島昌之
神田神保町 gallery 福果



出展メンバー gallery 福果にて

● 校友の活躍

◎ 出品

作家による

うるし・おわん・うつわ展2018

水口 咲 (平成5・D卒)

西武池袋本店6階アートギャラリー

URUSHI 伝統と革新展

水口 咲 (平成5・D卒)

乾漆縁文合子

そごう美術館

◎ 個展

髹漆 水口 咲 (平成5・D卒)

普段使いの漆の器

文京区 スペースたかもり



水口さんの個展会場

松原 伸生 藍形染展 (昭和59・D卒)

九段南 一口坂ギャラリー

永井 裕明 個展 (昭和51・D卒)

装丁外2 CHAOS

恵比寿 山小屋

● クラス会

● 昭和29年A科卒クラス会

我がクラス会は、東京スカイツリー完成に合わせて、毎年5月22日に開催することにして、以来毎年ツリーを見



ショートストーリーズ

阪上万里英・奥 直子 作品展
阪上万里英・奥 直子 (平成19・A卒)
「ショートストーリーズ」
本郷 gallery & books ヴァリエテ本六



個展会場で 松原さん

ながら開催をしている。今年も、上野東天紅で9名の参加者で開催した。

クラス会では学生時代の思い出話や、健康上などの話題で盛り上がった。時間があつという間に過ぎ、来年も再会出来ることを願って名残惜しく別れた。

卒業して65年を経過すると出席者も少なくなるので淋しいが、青春時代の思い出を共有できる仲間がいることは幸いだ。

平均寿命もクリアした今日、少なくとも東京オリピックまでは連続開催できればと思っている。

(山田三男・南部昌宏)



昭和29年A科卒 クラス会

を今回は10名のご参加をいただき開催致しました。

当日は新宿駅西口に集合し、動く歩道を利用し東京都庁へと向かいました。紅葉の美しい移ろいを鑑賞しながら、都庁のシンボリックな建物を鑑賞し、会議場や展望室からの展望を楽しみました。

総会は室谷会長の乾杯の音頭でスタートしました。参加者全員で、それぞれの近況やトピックス等の話題で盛り上がりました。健康(病氣自慢)や、趣味のこと、家族のこと等、すぐに打ち解けた雰囲気でした。1年のブランクを感じさせず、楽しい会となりました。

閉会後新宿駅から、元気に再会することを約束し帰途につきました。

(D科38年卒 松本 孝)



東芝万年会 平成30年度総会

クラス会

●昭和36年P科卒クラス会

卒業後、早60年に至らんとしています。年に1〜2回顔合わせの様に集まります。実社会で活躍中は、なかなか集まるのは難しかったのですが、引退後の諸君に声を掛け合い、20名程の旧友が集まる様になりました。連絡の取れない方、亡くなられた方等は合わせて10名余にも成っていました。本年9月末、また一人天上へと逝かれました。

本年2月のクラス会での記念写真をお送りいたしますが、中央に車椅子で出席された「斉藤一億」君の生前に会った最後の勇姿となりました事を報告致します。
(渡辺 昭)

●昭和39年全日制A科卒 日展見学とミニクラス会

11月25日日展最終日に見学。担任安原敏郎先生(93歳)と同級生井出久男、



昭和36年P科卒 クラス会



昭和39年A科卒日展見学とミニクラス会



昭和43年A科卒・卒業50年クラス会

佐竹進、里見哲勇、田中照一、坂巻の6名で田中照一本人の解説で作品「幾何模様の箱」を見学しました。その後、末広町の越後屋に移りヘギ蕎麦で昼食を兼ねて一杯。ミニクラス会で話に花が咲きました。
(坂巻亨)

●昭和43年A科卒・卒業50年クラス会

平成31年1月19日(土)

卒業して半世紀、久しぶりに集まりました。久しぶりの呼びかけで、東京タワー近く、ザ・プリンスパークタワー東京で開催。参加者はゲストの安原敏郎先生を含め20名。加えて、葉書で近況を寄せてくれた人9名というクラス会になりました。

ほとんどがリタイヤし、子育ても終わりのんびりした世代となり、ビューフェスタイルのパーテイルームとあって思い思いに席を変えながら近況や思い出話に興じ、賑やかで楽しい3時間を過ごしました。
(堀越敏晴)

母校だより

全日制

ART CRAFT

●第40回日本新工芸展 第1回学生選抜展

谷中田美術賞 3年 桑原瑞希

●第47回日本金工展 21部門

入選 3年 秋山佳穂 佐藤寛太

松浦美帆 横田麻里

●2018年度 東京ドームホテル

●第5回「AQUA ARTデザインコンテスト」

最優秀賞 2年 「みつけ!工芸丸」

敢闘賞 2年 「ロボット(オアシス)が守る未来都市!!」 「天の川鉄道」

MACHINE CRAFT

●全国製図コンクール

最優秀賞 2年 齋藤英佳

優秀賞 2年 伊志嶺光 永田優美

遠藤暖斗 大垣諭史 大内邦裕

佳作 2年 香取輝 川上美衣那

木下祐希 井上泰世 山本奈都

●ジュニアマイスターゴールド

3年 山崎可純 日比路花 都澤基

●ジュニアマイスターシルバー

3年 渡邊佳菜 田澤勇飛 大竹桃菜

宮崎恵里 2年 片岡航 遠藤暖斗

INTERIOR

●第12回ものデザインコンテスト

クラフト部門 優秀賞 2年 倉田柚有

優良賞 2年 東原春華 三宮駿之介

酒井麻衣

奨励賞 2年 宮内響己 齋藤伽音

インテリアデザイン部門

優秀賞 2年 木下凜々

コンクール等の入賞者・成績

優良賞 2年 川上恵美

奨励賞 2年 井上さな

●平成30年度住まいのインテリアコーディネーション コンテスト(高校生部門)

優秀賞 2年 酒井麻衣

奨励賞 2年 倉田柚有

●第33回デザイン甲子園(全国高等学校インテリアデザイン展)

大川市長賞 2年 橋本彩衣

全国高等学校インテリア科教育研究会会長賞 2年 板垣匡哉

福岡県産業デザイン協議会会長賞 2年 木下凜々

大川市議会議長賞 2年 星川輝成

●建設系高校生作品コンペティション2017

家具部門審査員特別賞

3年 高橋こころ

家具部門CCI東京特別賞

3年 高橋まり

製図部門審査員特別賞 3年 伊藤舞

製図部門CCI東京特別賞

3年 田中杏美

模型部門CCI東京特別賞

3年 手塚千尋

ポスター部門最優秀賞 2年 亀井優希

ポスター部門審査員特別賞

2年 大岩直央

●ICS Design Award 2018 高校生の部

優秀賞 2年 井上さな

1年 湯野拓也

ICS 量のある空間デザインコンペティション

最優秀賞 2年 大城蒼生

● 共立女子大学デザインコンペ「わたし
to デザイン」
学部長賞 2年 上田裕奈

● 第5回全国合板1枚作品コンペ
奨励賞 3年 高橋まり

● 第31回丹波の森ウッドクラフト展
学校賞 3年

GRAPHIC ARTS

● 足立区版オリジナルデザイン婚姻届
優秀賞 3年 吉岡真奈美

● 2018 染織意匠図案コンペ
銀賞 3年 吉岡真奈美

入賞 3年 長南芽依

● 第5回高校生「夢」デザインコンクール
グラフィック部門 入選 3年 松廣結子

● 平成30年度3Rポスターデザインコンテスト
佳作 3年 花房歩実 櫻井真奈

● 東京消防フォト甲子園
最優秀賞 3年 洲崎希

優秀賞 3年 羽石海羽

● 第3回「PR 動画コンテスト」
優秀賞 3年 常田福絵

特別賞 3年 三井校輔

● 川カシャ! 2018 第37回川の写真コン
クール 高等学校の部
金賞 1年 井沢賢人

銅賞 3年 安川茅波 加藤万桜

佳作 3年 佐藤海 松廣結子

2年 安孫子綾乃

● 2018年度8020運動ポスター
最優秀賞 3年 佐藤隼人

優秀賞 3年 木田瑞穂
入選 3年 長南芽依 亀井美緒

● 「いきいきシニアの集い」ポスター部門
吉岡真奈美 花房歩実 池上歌那

最優秀賞 (採用) 2年 砂川昂
優秀賞 2年 安孫子綾乃 吉仲桂葉

● 名古屋学院大学商学部主催 第11回 P
O コンテスト2018 総合部門
優秀賞 3年 羽石海羽 長南芽依

奨励賞 3年 佐藤隼人

● 第14回 IPA「ひろげよう情報モラル・
セキュリティコンクール」2018 ポ
スター部門 優秀賞 (警視庁)

3年 小川真葉 亀井美緒

優秀賞 (モバイルコンピュータインテグ推
進コンソーシアム) 3年 長南芽依

優秀賞 (株式会社カスベルキ)

3年 佐藤隼人

優秀賞 (実教出版株式会社)

3年 吉岡真奈美

優秀賞 (株式会社ディー・エヌ・エー)

3年 松廣結子

優秀賞 (株式会社ネットワールド)

3年 江口菜々美

● 平成30年度未成年者喫煙防止ポスターコ
ンクール
最優秀賞 3年 安川茅波

優秀賞 3年 木田瑞穂 松廣結子

2年 石川くるみ 勝野雄心

銅賞 1年 生田目智輝

● 第31回 道のある風景写真コンクール
ビックカメラ賞 3年 櫻井真奈

努力賞 1年 望月壮

● 少年の非行防止啓発ポスターコンクール
高校生の部 最優秀賞 3年 田邊唯

優秀賞 3年 木田瑞穂

● OAC 学生広告クリエイティブアワード
2018
DHCアワード映像部門

3年 池上歌那
ニューバランスアワード映像部門

3年 小川真葉

● 高校生書評合戦 ブックカバーデザイン
デザイン採用 1年 篠原麗

● 第14回全日本学校ポスター甲子園
優秀賞 2年 長谷川珠乙

カラーコーディネーター検定
2級 2年 長谷川珠乙

● DESIGN
(冊子)都立高校に入学を希望する皆さんへ
表紙原画採用 2年 永井遙

挿絵採用 3年 田中友貴

● 平成29年度学校要覧
表紙原画作成 3年 春原未来

● 文京区社会を明るくする大会
ポスター、チラシ原画採用
1年 佐藤奈々瀬

チラシ原画採用 2年 御給みのり

● 高校生ポスター甲子園
大垣市教育長賞 3年 西川菜那

奨励賞 3年 石崎友香 蓮百恵

眞庭りえ

入選 3年 木村紗妃 鈴木佳菜

● 東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会
中山瑠弥 松浦ももか 松野文音

パンフレット表紙デザイン採用
3年 杉山双葉

● 文京・見どころ絵はがき大賞
文京アカデミー賞 3年 眞庭りえ

優秀賞 3年 鬼頭花菜子

作品賞 3年 中山瑠弥 宮下恵理歌

加藤彩乃

● 東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会
ポスター採用 3年 杉山双葉

● 文京シビックオペラ「椿姫」
チラシイラスト採用 3年 赤堀若葉

● おおしま手づくり絵本コンクール2018
銅賞 3年 杉山双葉

富山テレビ賞 3年 西川菜那

入選 3年 坂牧優 春原未来 広瀬彩花

● (冊子)「翔」 専門高校生徒体験発表文・
作文・研究文集
表紙原画採用 2年 渡辺絵梨奈

● 明るい選挙啓発ポスターコンクール
東京都入選 1年 生越百花

文京区優秀賞 1年 計8名

プラスチック
金型製作

真空成型型
プレス抜型

圧空成型型
トムソン抜型

企画
デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-
<http://www.vmold.co.jp/>
e-mail
caduser@vmold.co.jp